


校名 三豊市立三野津中学校
住所 〒767-0032 三豊市三野町下高瀬720番地
学級数 11学級 生徒数 250名
校長名 宇野誓起
TEL (0875) 72-5209
FAX (0875) 56-2317



好きです! わたしたちの校区! 三野津中学校の自慢



沿革

昭和二十二年、三か村(大見・吉津・下高瀬)にそれぞれ中学校が開校。昭和三十年、三か村が合併して三野村となり、それに伴い中学校も合併して三野村立三野津中学校と改称される。開校以来、「清純・協和・自律・自励」の校訓のもと地域に根ざした教育活動を展開してきた。



人形浄瑠璃 (伝統が生きる讃岐源之丞)

フィールドワーク

一年生が「三野町ってどんな町」をテーマにして、文化財や有名な場所を実際に訪れて学ぶ「フィールドワーク」を行っています。弥谷寺は、標高三八二メートルの弥谷山中腹に所在し、山頂の岩山全体が本堂として信仰されています。本堂つきの岩山には創建時に先主佛が納められた岩穴が残っています。四国八十八所霊場の第七十一番札所として有名です。ここで生徒たちは、住



弥谷寺

職様から歴史や文化、現状などを学びます。津島神社の本殿は津島に建てられており、橋で結ばれた海岸沿いの松林の中に、本殿以外の社務所などが建てられています。島と対岸を結ぶ二五〇メートル



津島神社

の橋は、夏季大祭(八月四・五日)の二日間だけ通行することができます。子供の守り神として信仰されているため、たくさんの子供連れの参拝者で賑わいます。ここで生徒たちは、宮司様に神社の歴史や橋のこ

と、また、夏季大祭の二日間だけの臨時駅「津島宮駅」について質問をしています。「讃岐源之丞」とは、義太夫師匠三好富太郎が明治三十年に人形を購入して創設し、以来、保存会によって大切に引き継がれている人形浄瑠璃のことです。この人形頭と衣装は昭和三十七年に県有形民俗文化財に指定された大変貴重なものです。また、太夫・三味線・人形遣いの三者が一体となって上演できるようになり平成十八年に県指定の無形民俗文化財に指定されました。ここで生徒たち

夢づくり人づくり新聞

第47号

わがまち 三野町 再発見!

フィールドワークやボランティア活動を通して

三豊市三野町は、香川県の西部に位置し、備讃瀬戸に面して大麻山系を境に中讃広域圏に接しています。そのため、お寺や神社をはじめ歴史のあるものや昔からの伝統行事が大切にされてきました。三野津中学校では、ふるさとの魅力を再発見するため、また、ふるさとの伝統を守っていくため、さまざまな取り組みを行っています。



高永山 本門寺

は、保存会の方々に歴史や人形の動かし方、伝統を継承していく苦労話を聞いて学習しました。高永山本門寺は、日蓮正宗の本山格寺院です。鎌倉時代(一三二五年)に地頭秋山泰忠が建立し、日蓮上人を招いて開いた日蓮正宗の本山です。境内の開山堂は日蓮上人を祀ったもので、一六九七年に建造された、ほぼ当時の姿を残しています。

その他県保存木の楠や本堂・精霊殿・西門などが立ち並び、歴史ある重厚なたたずまいを見せています。毎年十一月二十二日、二十五日の四日間、境内で開かれる大坊市は別名「いもん市」とも言われ、江戸時代から続く初冬の風物詩として市民に親しまれています。ここで生徒たちは、住職様からお寺の歴史や歴史やお寺の日頃の仕事内容、そして大坊市のことを聞いて学習しました。宗言瓦窯は、三豊市豊中町妙音寺の創建にもなっている七世紀中頃に瓦の生産を始めた。持統天皇が六九四年に造った藤原宮でもこの宗言瓦が使われています。現在までに二十四基の瓦窯跡と工跡と見られる掘って建てた建物跡の一部



吉津夫婦獅子舞

吉津夫婦獅子舞は、寛永年間より私たちの郷土に奉納されたものです。こま犬の舞として我が国に伝来し、さまざまな変遷を経て、獅子舞として現在に受け継がれています。毎年十月第一日曜日の秋祭りに五穀豊穡を祈って奉納されます。吉津夫婦獅子舞は、勇ましい太鼓に合わせて雄獅子の二頭が戯れむつみ合いながら獅子の一生を演じます。このさまは、いつもこのさまは、実に華麗な舞です。昭和四十九年に無形民俗文化財に指定されました。生徒たちは、世話人さん、無形文化財になった理由や夫婦獅子の由来、保存している苦労話を学びました。



夏休み子ども寺子屋

三野津中学校は、ボランティア活動が盛んです。あじさつ運動や朝の清掃ボランティアにたくさん参加して、夏休みには「まちづくり推進隊」の主任で小学生を対象とした子ども寺子屋を対象とした子ども寺子屋が独自のです。子ども寺子屋は、小学生を対象に「ボスター」「たのしい算数」「科学体験」「木工教室」「ロボット教室」など十講座、どれも午前中に体験活動があります。これに、中学生が講師の先生や受講者のアシスタントとして参加します。本年度は、のべ四十一名の生徒が参加しました。このボランティアに参加する生徒たちは、小学生の時にこの子ども寺子屋で学んだ生徒が多く、「中学生のお兄さんやお姉さん」に手伝ってもらい、うまく作品が仕上がった。楽しく活動ができた。などの体験をもっています。自分たちが中学生になったので、「小学生の役に立ちたい」とこのボランティアに応募しています。ボランティアのリーダー役には、小中での寺子屋に関わった高校生が活躍してくれています。小学生から大人まで全ての年代が楽しんでいる子ども寺子屋です。




お遍路さんにお接待

ボランティア活動は、お遍路さんにお接待をする、どの方もたいへん喜んでくれます。また、お寺の方々にも清掃活動は感謝されます。たくさんの方の役に立ち感謝されることで、生徒たちは暑さの苦労も吹き飛ばしてしまへうららの喜びを感じることが出来ます。

発行所 株式会社太陽社
印刷所 株式会社太陽社
公益社団法人 香川県教育会 会長 松平頼武
〒七六〇-〇〇〇四
高松市西宝町二丁目六番四〇号
香川県教育会館内
電話・FAX (087) 834-1055
URL http://kagawaskurane.jp

三野津中学校伝統のボランティア 高瀬川の河川清掃

三野津中学校では、毎年二年生が高瀬川の河川清掃を行っています。三野町の中心部を流れる高瀬川は天井川で、堤防が延々と続いています。ここを二月の第一日曜日の「町を美しくする運動」で河川沿線の自治会の方々が、堤防の草刈りをしてきました。地域の方々が頑張っても土手の全てを整備することはできません。特に、三野津中学校より下流域は、田が広がる農地で、草刈りを引き受けてくれる集落がありませんでした。そこで三野津中学校では、二年生で行う立志の



高瀬川の河川清掃の様子

三野津中学校では、毎年二年生が高瀬川の河川清掃を行っています。三野町の中心部を流れる高瀬川は天井川で、堤防が延々と続いています。ここを二月の第一日曜日の「町を美しくする運動」で河川沿線の自治会の方々が、堤防の草刈りをしてきました。地域の方々が頑張っても土手の全てを整備することはできません。特に、三野津中学校より下流域は、田が広がる農地で、草刈りを引き受けてくれる集落がありませんでした。そこで三野津中学校では、二年生で行う立志の

『良港? 新田?』 校歌の謎に迫る

三野津中学校の校歌の一番は、「良港」や「新田」という歌詞があります。三野町は津嶋神社のあたりを除けば、海に面していません。ましてや、入り江があり、良港として利用されるような場所があるとは思えません。また、確かに水田は多いけれど、新田という意味はよく理解できません。そこで、「三野津港干拓史」(片山義隆氏著)をもとに

三野津中学校の校歌の一番は、「良港」や「新田」という歌詞があります。三野町は津嶋神社のあたりを除けば、海に面していません。ましてや、入り江があり、良港として利用されるような場所があるとは思えません。また、確かに水田は多いけれど、新田という意味はよく理解できません。そこで、「三野津港干拓史」(片山義隆氏著)をもとに

三野津中学校の校歌の一番は、「良港」や「新田」という歌詞があります。三野町は津嶋神社のあたりを除けば、海に面していません。ましてや、入り江があり、良港として利用されるような場所があるとは思えません。また、確かに水田は多いけれど、新田という意味はよく理解できません。そこで、「三野津港干拓史」(片山義隆氏著)をもとに

江戸時代に入ると、歴代の丸龜藩主によって干拓が

進められました。この干拓事業は、隣接する現・詫間町においても同時期に干拓が進み、松崎新田や的場新田も同じ時期に作られたことがわかりました。そして、一六〇〇年代に行われた干拓は全国的にみても早い時期の干拓であると記されています。

以上は、平成三十年度に関野士さん、綾直弥さん、田中通基さんの三人が文献と聞き取り、現地調査をしてまとめたもので、全国中学校生徒地域研究発表会で最優秀賞を受賞しました。

編集 後記
今回の編集を通じて、三野津中学校が三野町の歴史や文化と強い結びつきがあることがわかりました。特にボランティア活動が三野津中学校に根付いている理由が理解できました。これが新たな一歩を踏み出せるきっかけとなりました。